

平成24年度瀬戸内市次世代育成支援地域行動計画(後期計画)に基づく措置の実施状況及び評価

基本目標 1 子育て家庭の支援

(1) 地域における子育て家庭の支援

①保育サービスの充実

NO.	施策・事業	現状(平成21年度末)	平成24年度実施状況	評価	担当課
1	通常保育事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・8か所の認可保育所が設置されています。入所率に偏りがあり、施設数の調整が必要となっています。 ・0歳児保育を7か所の認可保育所で実施しています。 ・施設や設備の老朽化による改修が必要となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【新設保育園等施設整備】 ・福田保育園の隣接地の取得や活用案について検討。 【0歳児保育】 ・7か所の認可保育所で継続実施。 【施設整備】 ・継続実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、保育施設や遊具等の整備・改修に努めました。 	子育て支援課
2	延長保育事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての認可保育所で、30分または1時間型の延長保育を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度年間延べ利用人数 牛窓ルンビニ保育園 901人 あいあい保育園 1,000人 長船ちとせ保育園 1,190人 色久保育園 305人 福田保育園 287人 今城保育園 137人 長船東保育園 145人 長船西保育園 354人 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての認可保育園で実施し、保護者の利用ニーズに対応できました。 	子育て支援課
3	休日保育事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・未実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズを把握する必要があります。 	子育て支援課
4	幼稚園での預かり保育の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・8か所の幼稚園で実施しています。(全幼稚園10園中、休園1園、認可保育所と併設1園) 	<ul style="list-style-type: none"> ・8か所の幼稚園で実施しています。(全幼稚園10園中、休園2園) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市全域で約30名の預かり保育を実施しました。今後増える傾向にあります。 	総務学務課
5	認可外保育施設による保育サービスの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・2か所の事業所内保育施設が設置されています。 ・裳掛児童館(市単独事業)で保育サービスを実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【事業所内保育施設】 ・事業所内保育施設2か所。 【裳掛児童館】 ・継続実施。 (平成25年3月入所児童数) 11人 	<ul style="list-style-type: none"> 【事業所内保育施設】 ・色久光明園、長島愛生園内において保育が実施されました。 【裳掛児童館】 ・市単独事業として保育サービスを実施しました。 	子育て支援課

NO.	施策・事業	現状(平成21年度末)	平成24年度実施状況	評価	担当課
6	幼保一体化・一元化に向けた関係機関との調整	・玉津幼稚園と玉津保育園の施設共用化を実施しています。	・直接的な取組はないが、保幼の連携強化のため、牛窓町、邑久町、長船町の3地域で保育園と幼稚園の交流行事を実施しました。	・交流行事を実施することにより、保幼連携の強化につながりました。	総務学務課
			・直接的な取組はないが、保幼の連携強化のため、牛窓町、邑久町、長船町の3地域で保育園と幼稚園の交流行事を実施しました。	・交流行事を実施することにより、保幼連携の強化につながりました。	
7	認可保育所におけるサービスの質の向上に向けた職員研修等の充実	・県主催の現地研修会の開催や、専門家チーム員及び巡回相談員派遣(県巡回相談)を要請し、指導・助言等の支援を受けています。	・各保育園で、園内及び市の職員研修会、県・市保育協議会主催の研修会、子育て支援養成講座等に参加しました。	・子どもへの理解力を深めるなど個々に自己研鑽を積み、保育の現場で生かせることにより、質の向上につながりました。	子育て支援課
8	認可保育所における防犯・応急処置・安全管理体制の確保	・安全危機管理マニュアルを策定するとともに、警察署と連携して、不審者対応訓練を年3回実施しています。	・危機管理マニュアルにそって、スクールサポートセンター、警察署、消防署などと連携し、防犯訓練や避難訓練、防災教室などを実施しました。	・防犯・防災知識が身につく、安全管理体制の確保につながりました。	子育て支援課
9	認可保育所保育料低額基準額の設定による経済的支援	・認可保育所保育料の設定について、国の基準よりも低額な規準で実施しています。	・子育て家庭の経済的支援につながりました。	・継続実施予定。	子育て支援課

②子育て家庭を支援する多様なサービスの充実

NO.	施策・事業	現状(平成21年度末)	平成24年度実施状況	評価	担当課
10	病児・病後児保育事業の充実	・病児・病後児対応型が1か所設置されています。	【病児・病後児対応型】 ・平成24年度年間述べ利用人数 133人 【体調不良児対応型(自園型)】 ・未実施。	【病児・病後児対応型】 ・市ホームページへの掲載、チラシ配布、市内保育園・幼稚園等への訪問を行い、制度周知を図りました。	子育て支援課
11	一時預かり事業の充実	・4か所の認可保育所で実施しています。	・平成24年度年間述べ利用人数 牛窓ルンビニ保育園 398人 あいあい保育園 189人 長船ちとせ保育園 349人 邑久保育園 1,350人 長船東保育園 716人	・5か所の保育園で実施し、子育て家庭への支援を図りました。 ・2か所の保育園では生後2か月から利用可能とし、子育て支援につながりました。	子育て支援課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
12	ショートステイ事業（短期入所生活援助事業）の充実	・2か所の児童福祉施設への委託により実施しています。	・継続実施しましたが、利用者はいませんでした。	・緊急時の一時的に児童を養育する場を確保することにより、子育て家庭への支援を図りました。	子育て支援課
13	放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の充実	・9か所の放課後児童クラブが設置されています。 ・クラブ代表者による学童保育連絡会議を開催し、情報交換や課題の検討を行っています。 ・指導員の研修会を実施するとともに、長期休暇期間（夏休み等）の指導員増に対して委託料を加算しています。	・9クラブで実施。 ・指導員研修会及びクラブ代表者による学童保育連絡会議を開催しました。	・市主催の指導員研修会（支援を要する児童への関わり方）を実施し、指導員の資質の向上を図りました。	子育て支援課
14	地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター）の充実	・牛窓地区・邑久地区にある4つの認可保育所に地域子育て支援センターを併設しています。 ・各センターでは、子育てに関する相談をはじめ、センターだよりの発行など子育てに関する情報提供、講習会の開催、母親クラブ等の支援を行っています。	・平成24年度実施施設数 牛窓地域 2か所 邑久地域 2か所 長船地域 1か所	・岡山県が県内の子育て支援拠点を「おかやま地域子育て支援拠点（愛称：ももっこステーション）」として認定。 ・邑久、長船、牛窓地域のそれぞれの子育て支援センターで、多くの方が利用されました。	子育て支援課
15	ファミリーサポートセンター事業の充実	・依頼会員と提供会員による子育て支援の仕組みとして、センターを1か所設置（認可保育所に併設）しています。 ・提供会員の養成を目的に、保育サポーター養成講座を実施しています。	・平成25年3月末の登録会員数は、依頼会員39名、提供会員26名、依頼会員兼提供会員5名、計70名。平成24年度相互活動は56件。 ・平成25年3月に提供会員研修会を開催。	・実際の利用者が限られているため、制度の周知を図る必要があります。 ・活動できる提供会員が減少しているため、提供会員の確保が必要です。	子育て支援課
16	マイ保育園サポート事業の実施	・妊婦や3歳までの子どもと保護者を対象に、身近な認可保育所等（計9か所）で、施設開放・育児体験・子育て相談・マイ保育園一時保育（4か所）が利用できる事業を実施しています。	・すべての保育園等（9か所）で実施。	・地域子育て支援センターの活動内容と重なる部分が多く、今後は見直しが必要です。	子育て支援課
17	幼稚園での子育て支援の推進	・各幼稚園では、未就園児の親子登園、子育てサークルの支援、子育てに関する相談・情報提供等を実施しています。	・子ども教育検討PT会議の取組の中で、保幼小連携として「保幼小をつなぐ学びと育ちの共通カリキュラム」を作成しました。	・共通カリキュラムは、就学前の子育ての支援にもつながります。	総務学務課

③子育て家庭への情報提供・相談体制の充実

NO.	施策・事業	現状(平成21年度末)	平成24年度実施状況	評価	担当課
18	子育て支援マップや子育てガイドブック等の作成・配布	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待防止の啓発チラシの裏面を活用して、市内の子育て支援機関のマップを作成しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期から子どもの成長過程に沿った子育てに関する各種制度などを紹介した子育て応援冊子を妊娠届時に配布。H24.7月に改訂。 ・市内の商店・施設等におむつの交換台や授乳スペース等があるかどうかを表示した子育て応援マップを妊娠届時に配布。冊子・マップともに市役所等の保健福祉窓口を設置しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の子育てに関する情報を分かりやすく伝えることができています。 	子育て支援課
19	市広報や市HP等を活用した情報提供の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援に関する制度やサービス等について、市広報や市HPに掲載しています。 ・市の健康づくり通信に母子保健情報を掲載し、愛育委員による回覧を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て応援サイト(市ホームページ)で子育てに役立つ情報などをインターネットで紹介しています。 【市広報等による情報提供】 <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙・市ホームページ・子育て応援冊子により親子クラブ、妊婦健診等について広報を行いました。 【愛育委員による情報提供】 <ul style="list-style-type: none"> ・愛育委員による声掛けと、回覧により情報提供を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを通じて、子育てに関する最新の情報を提供することができました。 ・市民全体に情報を提供できたので効果的だと思います。 	子育て支援課
20	母子保健事業を通じた情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診や育児相談で、年齢や発達状況に応じて、健康管理や子育てに関するパンフレット等を配布しています。 ・子育てに関する正しい知識の普及啓発や、親同士の交流による育児の孤立化の予防等を目的に、子育て孫育てセミナーを実施しています。 ・愛育委員が生後4か月までに赤ちゃん訪問を行い、手作りおもちゃの贈呈や乳幼児健診への受診勧奨等を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診や育児相談で、年齢や発達状況に応じて、健康管理や子育てに関するパンフレット等を配布しています。乳児健診24回、1歳6か月健診12回、2歳児健診12回、3歳児健診12回。 ・子育てに関する正しい知識の普及啓発や、親同士の交流による育児の孤立化の予防等を目的に、親子交流会によりベビーマッサージ講座や食育の紙芝居等を実施。 ・愛育委員が生後4か月までに赤ちゃん訪問を行い、手作りおもちゃの贈呈や乳幼児健診への受診勧奨等を行いました。訪問数762件。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診ではスタッフを配置し、十分に情報の伝達ができていると思われます。また、愛育委員手作りのおもちゃを持って訪問し、受診勧奨を行うことについても好評です。 	健康づくり推進課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
21	親子クラブの活動支援	・親子クラブの運営・活動に関する相談や、情報提供等を実施しています。	【親子クラブ活動支援】 ・親子クラブの運営・活動に関する相談や情報提供等を実施しました。会議2回。合同研修会1回、参加人数38組。交流会では愛育委員会が子守を担当しました。また、栄養委員会はおやつ作りに協力しました。愛育委員OBによるボランティア組織の結成について話し合いを行いました。	・親子クラブの会議を開催し、活動支援ができています。	健康づくり推進課
22	地域子育て支援センターによる情報提供や相談の充実	・各地域子育て支援センターでは、毎月センターだよりを発行するとともに、利用者からの相談、情報提供を実施しています。	・平成24年度年間延べ利用人数 牛窓ルンビニ保育園 6,379人 あいあい保育園 2,251人 長船ちとせ保育園 3,505人 邑久保育園 5,811人 福田保育園 4,585人	・多くの方が利用し、子育て家庭の支援につながりました。	子育て支援課
23	児童相談援助の充実	・福祉事務所の家庭児童相談室を兼務し、家庭相談員と社会福祉主事（保健師）により相談を実施しています。	・家庭相談員2名（内1名は臨床心理士の資格あり）と社会福祉主事（保健師）により、児童相談援助をすすめました。	・昨年度、家庭相談員を増員しましたが、その体制を継続し、児童相談に対応できました。	子育て支援課
24	子育て支援の総合相談及びコーディネート機能の設置検討	・各機関が既存事業の中でそれぞれ対応しています。	・子育て支援も含めた総合相談窓口を設置するため、子ども教育検討プロジェクトチーム及び関係各課で課題として取り上げ、調査研究を行いました。	・市の窓口対応を検証し、妊婦や子育て家庭、高齢者も含め、利用しやすい窓口とするため、具体案を示して関係課と機構改革も含めた協議を行い、包括的な支援窓口設置の検討を行うことができました。	子育て支援課

④子育て家庭支援のネットワークづくり

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
25	子育て支援ネットワーク事業の推進 【再掲】No. 80、107	・児童虐待などの要保護児童の早期発見や早期対応をはじめ、すべての子どもと家庭への支援を目的とした関係機関・民間団体等によるネットワークを構築しています。 ・構成メンバーによるネットワーク連絡会を設置し、研修会や交流会を開催しています。	・H23年度まで開催していた「せとうち子どもフェスティバル」を保健福祉部の他のイベントと合同して「保健福祉フェスタ」として実施しました。既存の市子育て支援ネットワーク構成メンバーと連携しながら実施することができました。参加者約3,500人。 ・2/14に子育て支援ネットワーク研修会を開催しました。	・「保健福祉フェスタ」では、民生委員、愛育委員、栄養委員等、子育て支援ネットワークメンバーと連携しながら、子育ての楽しさ、喜びを市民に伝えることができました。 ・子育て支援ネットワーク研修会において構成メンバー間で、地域でできる子育て支援について考えることができました。	子育て支援課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
26	健康づくり事業での子育て支援関係団体の連携強化	・年1回の健康フェスタで、民生委員児童委員・愛育委員・栄養委員・各種団体等との連携のもと、昔遊びの伝承や絵本の読み聞かせ、食育や子育てに関する情報提供を行っています。	【健康フェスタ】 ・保健福祉部のイベントの3つを保健福祉フェスタとして実施し、民生委員児童委員・愛育委員・栄養委員・各種団体等との連携のもと、昔遊びの伝承や絵本の読み聞かせ、食育や子育てに関する情報提供を行いました。 H24年度全体参加者3,500人。	・保健福祉フェスタで親子遊びを中心としたコーナーに親子連れで多くの参加がありました。	健康づくり推進課

(2) 子どもの健全育成

①世代間や地域交流の推進

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
27	子どもを対象とした地域の大人が主体となる体験講座の充実 【再掲】No. 81	・子どもや親子を対象に、地域の大人が講師となり、郷土料理や季節の行事などを体験する講座を開催しています。	・各学校園の実情に合わせて、親子料理教室や季節の行事など地域の大人の協力を得て開催しました。	・地域の大人が料理教室や行事に参加することにより交流を深めることができました。	総務学務課
			【子ども体験教室（各公民館）】 ・週末を中心に子どもの体験活動を提供。活動の講師等に地域の大人が協力。 わくわくチャレンジ教室 15回 986人 おはなし会 69回 599人 うさぎの学校 11回 488人 子ども囲碁 38回 510人 「邑友タイム」 10講座 邑久高校生107人	・地域の大人が活躍して子どもに豊かな体験活動を提供することができました。	社会教育課
28	認可保育所での地域活動の推進	・老人クラブ、愛育委員、更生保護女性会、ボランティア等の協力・連携のもと、園内外で地域交流を行っています。 ・中高生による認可保育所への訪問や、夏休み期間中に中高生ボランティアの受け入れを行っています。	・園庭開放の実施とともに、老人会やボランティアの方々の協力により、伝承遊びやいも掘り体験などを実施しました。また、老人ホーム等への慰問・招待交流を行いました。 ・市内中・高校生のボランティアや長島愛生園看護学生などの受け入れを行いました。	・各園、多方面から地域の交流を深めることができました。	子育て支援課
29	放課後児童クラブでの交流活動の推進	・地域のボランティアが有するスキルを活かした放課後児童クラブの活動を行う際、事業費の負担を行っています。	・地域ボランティアを講師に招き、絵本読み聞かせ会、手芸教室、けん玉教室などを実施したクラブに対して、講師謝礼などの費用を補助。	・事業を通して、高齢者や地域ボランティアと児童との交流を深めることができました。	子育て支援課

②いじめ・少年非行、引きこもり・不登校等への支援

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
30	子ども人権相談の充実 【再掲】No.102	・夏休み・冬休み・春休み期間に、子ども向け人権相談が開催されています。子ども本人からの相談に加え、保護者からの相談も受け付けています。	〔子どもの人権相談〕 ・子どもの人権相談の日程をポスター及び市広報誌に掲載し、計画どおり実施しました。相談件数0件。	・相談件数が0ではあるが、今後も継続的にPRしていく必要があります。	市民課
31	要保護児童対策地域協議会による支援の推進 【再掲】No.103、108	・児童福祉法に基づく要保護児童対策地域協議会を設置し、代表者会議を年1回、実務者会議を月1回、個別ケース検討会議を適宜開催しています。	・代表者会議を5/21に開催。実務者会議毎月開催。個別ケース検討会議17回開催。	・会議を設けることで、要保護児童に関する情報や課題を共有し、支援体制を整えることができました。 ・困難ケース等、タイムリーに個別会議を持つことで、関係者がケース情報や課題を共有し、役割を確認することで、支援体制の充実を図ることができました。	子育て支援課
32	青少年育成センターによる補導活動の実施	・指導員による日常的巡視（JR駅での補導活動）、広域合同列車巡視、JR駅での早期巡視、すこやかハートランド清掃、声かけなどを実施しています。	・指導員による日常的巡視や広域合同列車巡視、早期巡視を実施しました。	・地域の実情や実態を早期に把握し、生徒指導体制の連携と強化につながりました。	総務学務課
33	不登校児童生徒への支援	・適応指導教室「のぞみ」を設置し、心理的原因による不登校の児童生徒の支援や、学校・スクールカウンセラーとの連携を行っています。	適応指導教室により、不登校児童生徒の学校復帰に向けた支援や学校と連携した取組を実施しました。	適応指導教室等につなぐことにより、不登校の軽減や保護者の支援になりました。	総務学務課
34	小・中学校へのスクールサポーターの配置 【再掲】No.71	・県教育委員会と連携し、中学校2校にスクールサポーターを配置しています。			総務学務課
35	関係機関の連携確保	・青少年の実態把握や、青少年にかかわる各種団体の活動情報を共有するため、青少年問題協議会を開催しています。	【青少年問題協議会】 ・11月15日に開催し、市内の状況や各団体の取組、課題など意見を交わし、情報の共有化を図りました。	・集い、意見交換することで、各機関や団体の様子が分かり、横のつながりが深まりました。 ・情報共有する中で活動や行動の方向性を見つけ、役割分担と連携を進めなければなりません。	社会教育課

③各種団体が行う活動への支援や施設等の活用・充実

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
36	民生委員児童委員・主任児童委員の活動支援	・民生委員児童委員・主任児童委員による学校訪問活動や、各種研修会・会議等への参加について、連絡調整等の支援を行っています。	・中学校、小学校訪問による児童生徒の状況把握及び情報交換などの活動を行いました。	・民生委員児童委員・主任児童委員による学校訪問活動や各種研修会・会議等を開催し、積極的に活動しています。	福祉課
37	施設使用料の減免及び活動費の補助	<p>・子育てに関する活動を行う団体に、市や市教育委員会が所有する施設等における使用料の減免を行っています。</p> <p>・子どもの健全育成にかかわる各種団体の活動費の補助を実施しています。</p>	<p>【子育て支援団体活動費の補助】</p> <p>・子育て支援団体について、公民館使用料等の減免登録を行いました。</p> <p>・保育園保護者会、親子クラブ等18団体に対し、活動費の補助金を交付しました。</p>	<p>・教育委員会が所有する施設での利用がしやすくなり、活動の推進につながりました。</p> <p>・各種団体の活動費の補助により、地域住民の積極的参加による地域組織活動の促進を図ることができました。</p>	子育て支援課
			<p>【ゆめトピア長船使用料の減免】</p> <p>・ゆめトピア長船使用料の減免を行いました。</p>	<p>・子どもの健全育成にかかわる各種団体の方々に多様にわたり使用していただいています。</p>	福祉課
			<p>【社会教育施設使用料の減免】</p> <p>・団体に対し、公民館や体育館など活動の目的に応じた減免を実施しました。</p> <p>【社会教育団体活動費補助金】</p> <p>・スポーツ少年団やFOS少年団、B&G海洋クラブに対して活動費補助金を交付しました。</p>	<p>・青少年健全育成をすすめる団体の活動が活性化することを促進できました。</p>	社会教育課
38	青少年健全育成に関する学習機会の実施	・青少年健全育成推進大会を開催し、明るい家庭づくり作文の表彰及び発表や、記念講演を実施しています。	・11月23日に市PTA連合会、家庭教育学級と連携して、第1部は「明るい家庭づくり」作文発表、第2部は金澤泰子氏を講師に招き「共に生きる」と題した講演会を行いました。参加者462名。	<p>・PTAや学校等と連携・協力があり、参加者が増えました。</p> <p>・参加者が家庭や子育てを見つめなおし、家族の絆の大切さを感じる機会につながりました。</p>	社会教育課
39	集会施設等を活用した地域づくり活動支援	・地域の実態に即した自主的な地域活動の活性化を図っています。	<p>・自治会等が実施する地域の行事、環境整備、ふれあい事業等に対し補助金を交付しました。（活用自治会81団体）</p> <p>・補助基準は、対象経費の2分の1以内で、各自治会の人口一人当たり400円を限度額としました。</p>	<p>・申請の手引で具体的な例示を示し、市広報紙等でPRを実施した。</p> <p>・自治会活動が停滞している状況も見受けられ、活性化に向けた研修会を開催したが、更なる活性化施策が必要となっています。</p>	まちづくり推進課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
40	児童遊園地の充実	<ul style="list-style-type: none"> 児童遊園地を整備及び管理する自治会等を対象に、遊具の新設、増・改設の事業費の一部を補助しています。 市で管理する児童遊園地の安全点検を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の児童遊園地を整備及び管理する自治会等に対し、遊具の新設、増・改設等事業に補助金を交付しました。 平成24年度は2自治会（2公園）に対し、補助を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 遊具が整備・修繕されることにより、子ども達の安全性の確保や健全な育成に役立っています。 	子育て支援課

④経済的支援

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
41	児童手当の支給	<ul style="list-style-type: none"> 児童手当法に基づく児童手当を支給しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども手当から児童手当に変わったこと及び新しい制度の周知を図るため、HPや広報誌へ記事を掲載するとともに、対象者全員（約2,600人）に案内文を送付しました。 児童手当法に基づき、現況届提出者（約2,600人）に児童手当の支給を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども手当から児童手当への移行は、大きな混乱もなく行うことができました。 現況届提出者に対しては、滞りなく手当の支給を行うことができました。現況届の未提出者へは、複数回手続き勧奨の文書を送るなどし、H25.3.11時点での提出率は約99%となりました。今後も未提出者に対して手続き勧奨を実施する予定です。 	子育て支援課
42	出産育児一時金の支給	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険法に基づく出産育児一時金を支給しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 28件支給。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画どおり実施しました。 	市民課

(3) 多様な働き方の実現及び仕事と子育ての両立の推進

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
43	男女共同参画の意識啓発 【再掲】No. 65、79	<ul style="list-style-type: none"> 市広報に男女共同参画週間を紹介する記事を掲載しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 市ホームページや広報紙に記事を掲載しました。また、啓発用のチラシを市内関係施設に配置して意識啓発を行いました。 市内の優良企業を推薦し、県から表彰状が授与された。 	<ul style="list-style-type: none"> 市男女共同参画基本計画に基づき、年次計画で事業を実施しているが、意識改革までにはほど遠い状況です。 	まちづくり推進課
44	育児・介護休業制度の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 未実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 市男女共同参画基本計画に基づき、市広報紙やホームページで制度の普及啓発を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様なライフスタイルに対応した育児・介護休業制度の広報と情報提供を行うため、より踏み込んだ内容の普及啓発が必要となっています。 	まちづくり推進課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
45	働き方の見直しについての意識啓発	・未実施。	・市男女共同参画基本計画に基づき、市広報紙やホームページで多様な働き方等の条件等の普及啓発を行いました。	・働く場における男女の均等な機会と待遇の促進、女性のチャレンジ支援、農漁業と自営業における男女共同参画の推進を柱に広報活動を行っているが、更なる意識啓発が必要となっています。	まちづくり推進課
			・子育て応援冊子の中で、育児休業など、仕事を続けながら育児をする方を支える制度を紹介しています。	・「お父さんの子育て」コラムの中で、仕事と日常生活のバランスを考え、時間管理や仕事内容を工夫するよう、呼び掛けました。	子育て支援課
46	次世代育成支援一般事業主行動計画の策定促進	・未実施。	・未実施。		子育て支援課
47	女性の再就職への支援の強化	・未実施。	No.45に同じ	No.45に同じ	まちづくり推進課
			・未実施。	・マザーズサロン等の制度を研究し、ハローワークとの連携強化が必要となります。	子育て支援課

基本目標 2 子どもと母親の健康の確保と増進

(1) 子どもと母親の健康の確保

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
48	母子健康手帳の交付	・手帳交付時にアンケート調査を行い、妊娠中の健康管理や過ごし方等について、面接指導を行っています。	【アンケートの実施と妊婦支援】 ・手帳交付時にアンケート調査を行い、妊娠中の健康管理や過ごし方等について、面接指導を行っています。母子手帳交付件数209件。10月からは見直しを行ったアンケートを実施し、より必要な方への対応ができる体制を作りました。	・ゆめトピア長船では保健師による面接ができていますが、分室・牛窓支所ではアンケートに答えていただき、後に電話連絡をしています。	健康づくり推進課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
49	保健指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生後1～2ヶ月頃、保健師や助産師が訪問や電話連絡等により、健康管理や育児の不安、悩み等に対する相談支援を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【早期乳児支援】 ・ 生後1～2か月頃、保健師や助産師が訪問や電話連絡等により、健康管理や育児の不安、悩み等に対する相談支援を実施しています。全戸訪問実件数214件延べ件数229件。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全戸訪問事業もほぼ定着し、実施率は97.3%です。今後も訪問が当たり前になるように啓発が必要です。 	健康づくり推進課
50	乳幼児健診の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多職種のスタッフによる発育や発達等のチェックを実施するとともに、健診終了後のカンファレンスで要フォロー児の検討を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【乳幼児健診の充実】 ・ 多職種のスタッフによる発育や発達等のチェックを実施するとともに、健診終了後のカンファレンスで要フォロー児の検討を実施しています。未受診者への電話や訪問を地区担当者が行う仕組みをつくり、状況把握に努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問・健診・育児相談・発達相談などご利用いただける支援を有効に使っていただけるよう、今後も啓発が必要です。 	健康づくり推進課
51	からだや社会性、協調性などの発達支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童福祉施設との連携による親子教室を開催しています。 ・ 発育や発達等に関する乳幼児こころの健康相談を実施しています。 ・ 専門医による幼児の発達相談を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【子どもの発達支援としての心の健康相談・発達相談】 ・ 児童福祉施設との連携による親子教室を開催しています。 ・ 発育や発達等に関する乳幼児こころの健康相談を実施しています。相談者数13件。 ・ 専門医による幼児の発達相談を実施しています。相談者数16件。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちの発達に関する相談は増加しており、育てにくさから生じる虐待についても配慮しながら対応することが必要です。 	健康づくり推進課
52	基本的な生活習慣の習得支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児健診や育児相談を通じて、早寝、早起き、食事時間等の規則的な生活リズムの確立を支援しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【規則的な生活リズムの確立支援】 ・ 乳幼児健診や育児相談を通じて、早寝、早起き、食事時間等の規則的な生活リズムの確立を支援しました。乳幼児健診では全員に栄養指導を行い、育児相談では、栄養士のコーナーを設けて相談を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養士による相談コーナーを設けることにより、全員に対して面接を行うことができ、きめ細かな相談業務ができたと思われれます。 	健康づくり推進課
53	歯の健康づくりの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児健診時に、虫歯になる可能性を予測するカリオスタット検査を実施しています。 ・ カリオスタット検査の結果、虫歯になる可能性の高い子どもを対象に、歯科衛生士による歯科相談（すこやか歯の教室）を開催しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【歯の健康づくり】 ・ 乳幼児健診時に、虫歯になる可能性を予測するカリオスタット検査を実施しています。年間カリオスタット実施者数993件（対象児のみ）。 ・ カリオスタット検査の結果、虫歯になる可能性の高い子どもを対象に、歯科衛生士による歯科相談（すこやか歯の教室）を開催しています。年間実施回数12回。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成24年度は3歳児健診の虫歯のある子どもの率が23.5%です。 	健康づくり推進課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
54	子どもの事故予防	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診時に、年齢に応じた事故予防のためのチェックリストやパンフレットを配布しています。 ・子育て孫育てセミナーで、市消防職員による乳幼児の救急法の講習を開催しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【子どもの事故予防の啓発】 ・乳幼児健診時に、年齢に応じた事故予防のためのチェックリストやパンフレットを配布しています。 ・子育て支援センターで3回、小児救急についての講演会を開催しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の水の事故への対応や、子どもの年齢に応じた講演を聴くことができ大変好評でした。 	健康づくり推進課

(2)食育の推進

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
55	地域での食育推進事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食講習会を開催し、心身発達上の食事の重要性や、乳児期の栄養について指導助言を行っています。 ・栄養委員の協力のもと、小学生を対象とした料理教室（わんぱくクッキング）を開催しています。 ・栄養委員が中心となって、子ども会を対象に調理実習を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食講習会を開催し、心身発達上の食事の重要性や、乳児期の栄養について指導助言を行いました。開催回数年12回。参加者数年間80人。 ・お箸教室を幼稚園・保育園で開催し、食事のマナーについて学んでもらいました。 ・栄養委員の協力のもと、小学生・中学生を対象とした料理教室を開催しています（開催校：邑久小学校、牛窓中学校、長船中学校）。 ・栄養委員が中心となって、親子3世代を対象に調理実習を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食講習会の場合が栄養指導と母親の交流育児不安の軽減にもなり、大変好評でした。 ・お箸については園で問題があると分かっているが、取り組みにくい分野であったため、良い動機付けとなり好評でした。 ・小学校だけでは対応できない内容（郷土料理等）を行う事ができ、大変好評でした。 ・調理実習では地域の人とのふれあいが喜びられています。 	健康づくり推進課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
56	認可保育所、幼稚園、学校での食育推進事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> 給食だより等を通じて、食に関する情報を提供しています。 給食で使用する食材に地場産物を使用しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【給食の地場産物利用促進】 給食の関係職員と情報交換を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 地場産物への関心が非常に高いことが分かりました。量の確保の問題があり、理想どおりに行かない面もありますが、努力を惜しまず取り組んでいました。 	健康づくり推進課
			<ul style="list-style-type: none"> 各保育園で「食育に関する年間計画」を作成し、保護者には毎月、給食だより等による食育情報の提供しました。また、児童は野菜の栽培・収穫体験や収穫した野菜を使ってのクッキング等を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者には地産地消への関心を持ってもらうとともに、児童には様々な体験を通じて「食の大切さ」を身につけてもらう取り組みができました。 	子育て支援課
			<ul style="list-style-type: none"> 給食だより等を通じて、食に関する情報提供を行いました。 給食の食材に地場産物を使用することで、食育を推進しました。 栄養教諭による指導を市内の学校園で実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 食に関する情報提供や給食を実施したことで、幼児児童生徒の食への関心を高めることができました。 栄養教諭の訪問による指導の実施により、食への正しい理解と知識を得る機会となりました。 	総務学務課

(3) 思春期保健対策の充実

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
57	心の健康支援	<ul style="list-style-type: none"> 思春期（不登校児童含む）や成人を対象とした、こころの健康相談を実施しています。 県教育委員会と連携し、すべての中学校にスクールカウンセラーを配置しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【こころの健康相談】 こころの健康相談を24回実施しました。また、発達支援コーディネーターとの連携も図りました。相談件数延べ55件。 	<ul style="list-style-type: none"> 発達支援コーディネーターとの連携により学校との情報交換がよりスムーズになりました。 	健康づくり推進課
			<ul style="list-style-type: none"> 県教委の事業を活用し、市内3中学校・1小学校にスクールカウンセラーを配置し、相談機能の充実に努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> 不登校傾向にある児童生徒の早期改善や不登校の改善の支援策として効果が認められました。 	総務学務課
58	未成年者の喫煙及び飲酒、薬物乱用の害についての理解促進	<ul style="list-style-type: none"> 小・中学校では学級活動や保健授業で指導を実施しています。 高等学校の文化祭で、愛育委員による喫煙防止啓発ポスターの展示やパンフレットを配布しています。 市広報や健康づくり通信に喫煙防止や飲酒の害についての記事を掲載しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【喫煙・薬物乱用の害の啓発】 邑久高校の文化祭でタバコや薬物の害について啓発活動を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭の中の高校生に対して情報提供できたことは、大変意義があったと思います。 	健康づくり推進課
			<ul style="list-style-type: none"> 小・中学校では学級活動や保健授業で指導しました。 敷地内全面禁煙を継続して実施しています。 中学校では、薬物乱用防止教室を実施しました。（小学校もできれば実施） 	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校の連続した指導により、未成年の喫煙や薬物使用等の防止につながりました。 	総務学務課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
59	思春期保健事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校の文化祭で、愛育委員による赤ちゃんの抱き方、あやし方など、ふれあい体験学習を開催しています。 ・健康フェスタで、中学生の参加によるベビーマッサージ教室を開催し、赤ちゃんとのふれあい体験を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【赤ちゃんふれあい体験】 ・高等学校の文化祭で、愛育委員による赤ちゃんの抱き方、あやし方など、ふれあい体験学習を開催しました。男子生徒も妊婦体験を実施しました。 ・邑久高校の協力により授業の一環として親子交流会に参加し、ボランティアとしてベビーマッサージ教室に参加し、赤ちゃんとのふれあい体験を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・邑久高校が授業として受け入れをしていただくことにより、接点を持ちにくい高校生年齢の生徒たちと、楽しい雰囲気の中で学習していただくことができ効果的だと思われました。 	健康づくり推進課

(4)小児医療の充実

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
60	小児医療体制の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・市立市民病院に小児科が設置されています。（毎週金曜日） ・医師会との連携のもと、休日の当番医制度を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にPR活動を実施し、今年度9件実施しました。 ・平成23年度から小児科にて予防接種（ポリオ以外）接種できる体制を整えました。 <実績> MRワクチン 7件 四種混合 1件 二種混合 1件 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教室や講演などの実施、健康づくり推進課との連携による市民への周知を強化したことが件数増につながりました。 	病院事業部
61	不妊治療に関する支援制度の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報及び愛育委員による回覧で、不妊治療支援制度の普及啓発を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【不妊治療支援制度】 ・市広報紙及び愛育委員による回覧で、不妊治療支援制度の普及啓発を行いました。申請者数18件。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年を追うごとに、申請者の件数は増加しています。 	健康づくり推進課
62	乳幼児医療費、子育て支援医療費の助成 ※H22.10乳幼児医療費→小児医療費	<ul style="list-style-type: none"> ・県の乳幼児医療費給付事業に基づき、就学前まで入院・通院に係る自己負担分の助成を実施しています。 ・市独自の子育て支援医療費の助成として、小学1年～中学3年までの入院・通院に係る自己負担の一部を助成しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【小児医療費給付事業】 ・平成23年10月診療分より、対象年齢を15歳（中学卒業）まで拡大しました。支給金額は、148,024千円。 【子育て支援医療費の助成】 ・平成23年9月診療分まで継続して実施しました。申請の延件数は759件、支給金額は1,014千円。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり実施しました。 	市民課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
63	感染症対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもがかかりやすい感染症や、新たに発生する感染症に関する情報及び予防方法について、市広報や市HP等で周知しています。 ・定期予防接種の受診方法等について、出生届時、家庭訪問、各種健診や子育て孫育てセミナー等の機会に周知しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【感染症予防の啓発】 ・子どもがかかりやすい感染症や、新たに発生する感染症に関する情報及び予防方法について、市広報紙や市ホームページ等で周知しています。 【定期予防接種の勧奨】 ・定期予防接種の受診方法等について、出生届時、家庭訪問、各種健診等の機会に周知しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種や子どもの感染症に関して関心は高く、定期予防接種は実施できています。今後も手洗いなど基本的な生活習慣も含めて継続して実施していく必要があります。 ・MRの予防接種についてはもう少し受診率を上げる必要があります。 	健康づくり推進課

基本目標3 子どもの健やかな成長を目指した教育環境の整備

(1)次代の親の育成

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
64	次代の親へ男女が協力して家庭を築くこと、子どもを生み育てることの意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生による認可保育所への訪問や、夏休み期間中に中高生ボランティアの受け入れを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【中高生の母子保健啓発】 ・高等学校の文化祭で赤ちゃん人形や妊婦体験の道具を活用しながら、命の大切さや妊娠時の配慮について啓発しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒も大変積極的に子どものオムツ交換や、妊婦体験に取り組むことができ、効果的でした。 	健康づくり推進課
			<ul style="list-style-type: none"> ・保育所において夏休み期間など、中学生・高校生ボランティアの受け入れを行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア参加者は児童との触れ合いを通じて、子育てへの理解と知識を深めるよい契機となりました。 	子育て支援課
65	男女共同参画の意識啓発 【再掲】 No. 43、79	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報に男女共同参画週間を紹介する記事を掲載しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページや広報紙に記事を掲載しました。また、啓発用のチラシを市内関係施設に配置して意識啓発を行いました。 ・市内の優良企業を推薦し、県から表彰状が授与された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市男女共同参画基本計画に基づき、年次計画で事業を実施しているが、意識改革までにはほど遠い状況です。 	まちづくり推進課 【再掲】

(2)学校教育・幼児教育の充実

NO.	施策・事業	現状(平成21年度末)	平成24年度実施状況	評価	担当課
66	指導体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導や生徒指導の充実に向けて、県からの教員の加配や市による非常勤講師の配置を行っています。 ・きめ細かな指導を行うために、幼稚園・小学校に支援員を配置しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県からの教員の加配や市費による非常勤講師の配置により、少人数指導や生徒指導の充実を図りました。 ・支援を要する幼児・児童へのきめ細やかな指導を実施するため、幼稚園・小学校に支援員を配置しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加配や支援員などの人的配置により、個のニーズに対応した支援を充実することができました。 	総務学務課
67	道徳教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての小・中学校で定期的に道徳授業が展開されています。また、すべての教育活動を通じて道徳性の育成・向上に努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての小・中学校では定期的に道徳授業を実施しました。常に教育活動全体を通じて道徳的判断力や実践力の向上に努めました。 ・すべての小・中学校に道徳教育推進教師を配置しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育推進教師を中心とし、年間指導計画を基に、教育活動全体を通じた計画的・継続的な道徳教育を実施することができました。 	総務学務課
68	スクールカウンセラーの配置	<ul style="list-style-type: none"> ・県教育委員会と連携し、すべての中学校にスクールカウンセラーを配置しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県教育委員会と連携し、市内3中学校と1小学校にスクールカウンセラーを配置しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーの配置により、問題行動や不登校等の課題に対しての機能的な相談体制を充実させることができました。 	総務学務課
69	学校評議員制度の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校で学校評議員を委嘱し、教育活動全般についての意見を踏まえ、活動内容に反映しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校で学校評議員を委嘱し、教育活動全般についての意見を踏まえ、活動に反映しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員からの提言を学校運営やその改善に生かしていくことができています。 	総務学務課
70	基本的な生活習慣の確立や健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校の文化祭で、栄養委員による食事アンケートの実施やパンフレットを配布し、規則正しい生活習慣の普及啓発を行っています。 ・幼稚園や小学校を対象に、栄養士と栄養委員による健康教育や調理実習を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【高等学校文化祭参加】 ・高等学校の文化祭で、栄養委員による食事アンケートの実施やパンフレットを配布し、規則正しい生活習慣の普及啓発を行っています。 【幼稚園・小学校との連携】 ・幼稚園や小学校を対象に、保健師・栄養士と栄養委員・栄養委員OB会による健康教育や調理実習を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育サットを利用しバランスが取れるかというコーナーは生徒に興味を持ってもらいました。 ・幼稚園や小学校、中学校で子どもたちや、若い保護者の方へ健康づくりの情報提供ができることは、病気の予防のため効果があると考えます。 	健康づくり推進課
71	小・中学校へのスクールサポーターの配置 【再掲】No. 34	<ul style="list-style-type: none"> ・県教育委員会と連携し、中学校2校にスクールサポーターを配置しています。 			総務学務課 【再掲】

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
72	学校における防犯・応急処置・安全管理体制の確保	<ul style="list-style-type: none"> すべての幼稚園・小・中学校で防犯や安全のための教職員研修や訓練が実施されています。 すべての幼稚園・小・中学校で定期的な安全点検が実施されています。 学校とPTA、地域等が連携して安全パトロール等の活動が行われています。 	<ul style="list-style-type: none"> すべての幼稚園・小・中学校で防犯や安全のための教職員研修や訓練、定期的な安全点検を実施しました。 学校とPTA、地域等が連携して安全パトロール等の活動を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 警察スクールサポーターを招へいた実践的な訓練を実施し、危機意識の向上に努めました。 事務部会の連携・協力により、修繕費の早期予算化を実施しました。 登下校時の見守りを継続して実施しています。 	総務学務課
73	幼児教育の振興	<ul style="list-style-type: none"> すべての幼稚園で3歳児保育を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> すべての幼稚園で3歳児保育を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 3歳児保育の実施により、年齢層に応じた保育を実施することができました。 	総務学務課

(3) 家庭や地域の教育力の向上

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
74	家庭教育手帳の配布と活用の促進	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育手帳を2歳児健診時に配布し、家庭教育の重要性を啓発しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【家庭教育手帳の配布】 家庭教育手帳を2歳児健診時に配布し、家庭教育の重要性を啓発しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 健診受診者に配布することができました。 	健康づくり推進課
			<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育手帳を2歳児健診時に配布し、家庭教育の重要性を啓発しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育てに必要な情報を提供することができました。 	社会教育課
75	家庭教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園単位で、保護者等で組織する家庭教育学級を設置し、子育てに関する研修や子育てについて話し合える環境づくりを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育学級を8学級開設し、289名が参加して子育てに関する学習など行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育ての不安解消につながった参加者が多くいました。 保護者同士の絆が深まり、子育てについてなど話し合う場と機会を提供することができました。 	社会教育課
76	乳幼児健診会場でのブックスタート事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健診時に絵本を通した親子の温かなふれあいについて説明し、ブックスタートパックを配付しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ブックスタートパックを4・5か月健診時に、説明をしながら手渡し、本を通した親子のふれあいについて啓発しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 親子の絆を深める機会につながりました。 幼少期から子どもが本に親しむ環境が向上しました。 	社会教育課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
77	男女が協力して家庭を築くこと、子どもを生き育てることの意識啓発	・子育てに関する正しい知識の普及啓発や、親同士の交流による育児の孤立化の予防等を目的に、子育て孫育てセミナーを実施しています。	【子育て孫育てセミナー】 ・未実施。		健康づくり推進課
78	スポーツの振興	・体育協会やスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブの活動を支援しています。	・スポーツ少年団等の青少年団体、体育協会の事業については、社会体育施設の使用料を100%減免しました。 ・活動への指導や助言のほか、市体育協会・市スポーツ少年団、B&G海洋クラブに対し活動補助金を交付しました。	・スポーツ少年団活動・体育協会事業について、規模を縮小することなく実施することができました。	社会教育課
79	男女共同参画の意識啓発 【再掲】 No. 43、65	・市広報に男女共同参画週間を紹介する記事を掲載しています。	・市ホームページや広報紙に記事を掲載しました。また、啓発用のチラシを市内関係施設に配置して意識啓発を行いました。 ・市内の優良企業を推薦し、県から表彰状が授与された。	・市男女共同参画基本計画に基づき、年次計画で事業を実施しているが、意識改革までにはほど遠い状況です。	まちづくり推進課 【再掲】
80	子育て支援ネットワーク事業の推進 【再掲】 No. 25、107	・児童虐待などの要保護児童の早期発見や早期対応をはじめ、すべての子どもと家庭への支援を目的とした関係機関・民間団体等によるネットワークを構築しています。 ・構成メンバーによるネットワーク連絡会を設置し、研修会や交流会を開催しています。	・H23年度まで開催していた「せとうち子どもフェスティバル」を保健福祉部の他のイベントと合同して「保健福祉フェスタ」として実施しました。既存の市子育て支援ネットワーク構成メンバーと連携しながら実施することができました。参加者約3,500人。 ・2/14に子育て支援ネットワーク研修会を開催しました。	・民生委員、愛育委員、栄養委員等、子育て支援ネットワークメンバーと連携しながら、子育ての楽しさ、喜びを市民に伝えることができました。	子育て支援課 【再掲】
81	子どもを対象とした地域の大人が主体となる体験講座の充実 【再掲】 No. 27	・子どもや親子を対象に、地域の大人が講師となり、郷土料理や季節の行事などを体験する講座を開催しています。	・各学校園の実情に合わせて、親子料理教室や季節の行事など地域の大人の協力を得て開催しました。	・地域の大人が料理教室や行事に参加することにより交流を深めることができました。	総務学務課 【再掲】
			【子ども体験教室（各公民館）】 ・週末を中心に子どもの体験活動を提供。活動の講師等に地域の大人が協力。 わくわくチャレンジ教室 15回 986人 おはなし会 69回 599人 うさぎの学校 11回 488人 子ども囲碁 38回 510人 「邑友タイム」 10講座 邑久高校生107人	・地域の大人が活躍して子どもに豊かな体験活動を提供することができました。	社会教育課 【再掲】

基本目標4 子育てを支援する生活環境の整備

(1)バリアフリーのまちづくり

①安心して外出できる環境の整備

NO.	施策・事業	現状(平成21年度末)	平成24年度実施状況	評価	担当課
82	公共施設等の子ども及び親子連れに配慮した施設機能の充実	・一部の公共施設には、子ども用便器や手洗い器、ベビーベッド・チェアが設置されています。	・未実施。		子育て支援課
83	鉄道駅等の旅客施設、バス車両等のバリアフリー化	・JR長船駅のホームと電車との段差解消について、早期の実施を要望しています。	・JRに長船駅のホームと電車との段差解消について、早期の実施を要望しました。		総務課
84	歩行空間のバリアフリー化	・市道改良工事と合わせ、歩道の新設や改良を実施しています。	・未実施。	・市道改良計画により検討。	建設課
85	ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進	・未実施。	・未実施。		福祉課
86	子育てにやさしいまちづくりへの理解の促進	・未実施。	・妊娠期から子どもの成長過程に沿った子育てに関する各種制度などを紹介した子育て応援冊子を妊娠届時に配布。H24.7月に改訂。 ・市内の商店・施設等におむつの交換台や授乳スペース等があるかどうかを表示した子育て応援マップを妊娠届時に配布。	・市の子育てに関する情報を分かりやすく伝えることができています。	子育て支援課

②良質な住宅・居住環境の確保

NO.	施策・事業	現状(平成21年度末)	平成24年度実施状況	評価	担当課
87	分譲住宅地の販売促進	・定住促進団地の販売とともに、チラシや住宅情報誌を活用したPRを実施しています。 ・空家情報バンク制度による定住促進事業を実施しています。	・定住促進団地の販売とともに、チラシや住宅情報誌を活用したPRを実施しました。 ・空家情報バンク制度による定住促進事業を実施しました。	・住宅情報誌への掲載は効果的で、問い合わせ等も増加しました。また、東京、大阪でのPR活動も非常に有効でした。 ・空家情報バンクへの問い合わせが増加しており、登録物件の追加と見直しが必要となっています。	まちづくり推進課
88	老朽化した公営住宅の計画的な建替及び改修事業の実施	・公営住宅の中には築後30年を超えるものもあり、老朽化が課題となっています。	・建替住宅の基本・実施設計を実施 ・下水道接続を実施しました。	・設計の完了 ・建替え用地の購入が出来ました。	建設課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
89	住宅増改築相談の充実	・相談員による住宅の増改築や耐震対策に関する相談を月1回実施しています。	・相談員による住宅の増改築や耐震対策に関する相談を月1回、計12回実施しました。	・相談を利用される方が少ない。	建設課

(2)安全・安心なまちづくり

①交通安全の推進

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
90	交通安全に関する意識の啓発	・市広報や市HPを活用して、子どもの交通安全に関する啓発を行っています。	・市役所からの指導 幼保育園40回 一般（高齢者を含む）3回・街頭啓発活動 ・瀬戸内警察署からの指導 幼保15回、小学校5回、中学校5回 高校1回、一般（高齢者を含む）31回 街頭啓発活動22回	・瀬戸内警察署と連携・情報の共有を図りながら実施したことで、より効果的な啓発活動が取り組みました。	地域安全推進室 (H25年度から危機管理課)
91	チャイルドシートバンクの充実	・瀬戸内交通安全協会と連携し、チャイルドシート、ベビーシート、ジュニアシートの貸し出しを実施しています。	・市役所貸出数9回 ・瀬戸内警察署貸出数33回	・瀬戸内交通安全協会と連携し、チャイルドシート、ジュニアシートの貸し出しを実施しています。	地域安全推進室 (H25年度から危機管理課)
92	交通安全対策協議会の運営と連携強化	・交通安全対策協議会を春・秋の2回開催し、関係団体が一体となって交通安全活動を実施しています。	・春の交通安全運動 4月6日～15日 ・秋の交通安全運動 9月21日～30日	・関係団体が集結することで、自然体の交通安全啓発活動の意欲向上に繋がっています。	地域安全推進室 (H25年度から危機管理課)
93	交通安全施設等の整備	・瀬戸内交通安全協会等と連携して、通学通園路を中心に交通安全看板などの設置を実施しています。	・瀬戸内市交通安全協会・交通安全母の会（14地区）を中心に、通学路などに交通安全看板などの設置を実施。	・地域の交通事情の把握と対策を、市・警察署で共有しました。	地域安全推進室 (H25年度から危機管理課)
			・カーブミラー20基、ガードレール約350m、外側線ライン引き等交通安全施設設置を実施しました。	・緊急度の高い箇所から安全対策を図りました。	建設課

②子どもを犯罪等の被害から守る活動の推進

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
94	自主防犯行動の促進に向けた情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 市広報や市HPを活用して、防犯情報を提供しています。 子どもの安全にかかわる事件や不審者等の情報を、携帯電話やパソコンに電子メールで配信しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙への防犯情報の掲載 5回 瀬戸内市安全・安心ネットワーク推進連絡会メンバーへの、岡山県警察から配信される防犯情報等のメール配信 11回 市の安心メールにより不審者情報9件を登録者約1000名に配信することができました。 	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙による全戸への広報、また自主防犯組織へのメール配信等により情報提供が図れました。 県警のももくんメールの情報により、登録者に不審者情報を迅速かつ正確に配信することができました。 	<p>地域安全推進室 (H25年度から危機管理課)</p> <p>総務学務課</p>
95	防犯灯の設置	<ul style="list-style-type: none"> 自治会からの要請による防犯灯の設置とともに、防犯灯を設置する自治会に対して補助金を交付しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 防犯灯球切れ等修繕対応 802灯 市所有防犯灯のLED化 58灯 自治会所有防犯灯LED化補助 191灯 	<ul style="list-style-type: none"> LED化に関する広報活動を行い、多くの地域で防犯灯のLED化に取り組んでもらうことができました。これにより、20W蛍光灯等防犯灯の球切れ修繕等が前年度より減少し、一定の効果が表れました。 	<p>地域安全推進室 (H25年度から危機管理課)</p>
96	防犯ボランティアの育成及び活動支援	<ul style="list-style-type: none"> 各地域に結成された自主パトロール隊との合同パトロールを実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の自主的なパトロール活動、瀬戸内市防犯パトロール隊と役割分担して防犯パトロールを行いました。 平成24年度パトロール回数 132回 	<ul style="list-style-type: none"> 市と自主パトロール隊との情報共有が図れました。 瀬戸内市防犯パトロールの強化が図れました。 	<p>地域安全推進室 (H25年度から危機管理課)</p>
97	市民を対象とした防犯学習機会の実施	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員定例会で防犯講話を行い、登下校時の見守り活動など、子どもの安全確保についての啓発を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 警察署が主体となって、高齢者・学校・各種団体等に対する防犯講話を計122回実施し、振込詐欺など犯罪被害防止や地域の絆づくりについての啓発を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 防犯学習に対する連携や要望に適切に対応することができました。 市と警察署との連携や役割分担、情報共有が図れました。 	<p>地域安全推進室 (H25年度から危機管理課)</p>
98	<p>小学生や保護者を対象とした児童虐待・いじめ等の暴力防止教育の実施</p> <p>【再掲】No. 109</p>	<ul style="list-style-type: none"> 小学校4年生とその保護者及び教職員を対象に、子どもへの暴力防止/人権教育プログラム(CAP)を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内10校のうち2校の協力が得られ、子どもへの暴力防止/人権教育プログラム(CAP)を実施することができました。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校ぐるみでCAPを実施した学校が1校ありました。 学校のカリキュラムの変更により、研修時間の確保が難しく、取組めない学校が増えている現状があります。 	<p>子育て支援課</p>

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
99	防犯連合会等との連携による子ども110番制度の推進	・各小学校でPTA等を通じて、子ども110番の引き受け場所を確保し、掲示札の掲示及び緊急避難場所としています。	・各学校でPTA等を通じ、「子ども110番」の引き受け場所を確保しました。	・「子ども110番」の看板設置により犯罪抑止に効果がありました。	総務学務課
100	情報モラル教育の推進	・すべての小・中学校で、インターネットや携帯電話によるいじめや有害情報に対する教職員研修を実施し、児童生徒への指導を行っています。また、家庭への啓発を行っています。 ・関係機関と協力して、学校裏サイト等のチェック体制を整備しています。	・小・中学校では、情報モラル教育に関する教職員の指導力向上のため、校内研修を実施しました。 ・県の事業と連携してネットパトロールを実施し、児童生徒の携帯電話等によるトラブルの発見と未然防止に努めました。	・情報モラル教育の指導力向上を図ることができました。 ・ネットパトロールの実施により、児童生徒の携帯電話を取り巻く状況を定期的に把握し、関係の学校に情報提供することで、指導に生かすことができました。	総務学務課
101	関係機関における防犯に関する意見交換の充実	・教育委員会、警察署、防犯連合会等との意見交換を随時実施しています。	・青少年問題協議会等で、教育委員会・警察署・防犯連合会等の意見交換を行い、情報の共有を図りました。 ・自主防犯組織情報交換会を11月に行いました。	・関係団体の活動状況、防犯情報の共有が図れました。 ・各自主防犯組織の活動状況、防犯情報の共有が図れました。	地域安全推進室 (H25年度から危機管理課)

③被害にあった子どもの保護の推進

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
102	子ども人権相談の充実 【再掲】 No. 30	・夏休み・冬休み・春休み期間に、子ども向け人権相談を開催しています。 子ども本人からの相談に加え、保護者からの相談も受け付けています。	〔子どもの人権相談〕 ・子どもの人権相談の日程をポスター及び市広報誌に掲載し、計画どおり実施しました。 相談件数0件。	・相談件数が0ではあるが、今後も継続的にPRしていく必要があります。	市民課 【再掲】
103	要保護児童対策地域協議会による支援の推進 【再掲】 No. 31、108	・児童福祉法に基づく要保護児童対策地域協議会を設置し、代表者会議を年1回、実務者会議を月1回、個別ケース検討会議を適宜開催しています。	・代表者会議を5/21に開催。実務者会議毎月開催。個別ケース検討会議17回開催。	・会議を設けることで、要保護児童に関する情報や課題を共有し、支援体制を整えることができました。 ・困難ケース等、タイムリーに個別会議を持つことで、関係者がケース情報や課題を共有し、役割を確認することで、支援体制の充実に図ることができました。	子育て支援課 【再掲】

基本目標5 支援が必要な子どもと家庭への取り組みの推進

(1) 児童虐待防止対策の推進

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
104	子どもの人権や児童虐待防止に関する啓発活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年11月号の市広報に虐待防止に関する記事を掲載しています。 ・平成17年度に児童虐待防止等ネットワークによる啓発チラシを全戸配布しています。 ・毎年、児童虐待防止推進月間にあわせて、関係機関(者)へ啓発ポスター・チラシを配付しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国一斉「子どもの人権110番」強化週間(6月25日～7月1日)に合わせて、市広報誌を活用した啓発活動を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題や児童虐待等が深刻化しているので、今後も定期的に啓発活動を実施する必要があります。 	市民課
			<ul style="list-style-type: none"> ・11月の児童虐待防止月間に併せて、ポスターや啓発チラシの配布、及び市広報紙への掲載等により市民への啓発を行いました。啓発用マグネット看板を、公用車に取り付けPR活動を行いました。 ・オレンジリボンのロゴ入りTシャツを、11月の児童虐待防止月間を中心に、イベント等に着用し、児童虐待防止のPR活動を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待防止には、住民への意識啓発は不可欠です。今年度も市民から数件虐待通告がありました。今後も市民への継続的な啓発活動は必要です。 	子育て支援課
105	子育てに関する正しい知識の普及と虐待の早期発見の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師等による新生児・乳児訪問を行い、育児上の不安や悩みの軽減を図っています。 ・愛育委員が生後4か月までに赤ちゃん訪問を行い、手作りおもちゃの贈呈や乳幼児健診への受診勧奨等を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【虐待防止啓発】 ・No. 104に同じ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・No. 104に同じ。 	子育て支援課
			<ul style="list-style-type: none"> 【保健師等による乳幼児訪問】 ・支援が必要な家庭を継続的に訪問し、相談にのりました。 【愛育委員訪問活動】 ・愛育委員による声掛け訪問を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若年妊産婦や、地域で支援が得られにくい世帯が多くなっていることから、保健師等による訪問や地域の愛育委員の見守りは重要になっています。 	健康づくり推進課
106	養育支援が必要な家庭への訪問指導	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健事業をはじめ、関係機関で把握された支援が必要な家庭に対して、訪問指導を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【養育支援訪問事業】 ・養育支援が必要な家庭に対し、16家庭に対して述べ72回訪問しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未婚の若年出産や、育児不安の強い母親、多胎児出産など、養育面が心配な家庭に定期的に訪問し、助言・指導を行いました。これにより母子ともに安定した養育環境を提供することができました。 	子育て支援課
			<ul style="list-style-type: none"> 【保健師等による乳幼児訪問】 ・保健師、助産師により乳幼児全戸訪問を行いました。養育支援事業が必要な家庭について子育て支援課との連携を持って対応しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問事業は多くの場合、喜んで訪問を受け入れてくれるが、数件訪問を拒否されました。訪問事業の理解を更に得るとともに、拒否された家庭への介入が必要となっています。 	健康づくり推進課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
107	子育て支援ネットワーク事業の推進 【再掲】 No. 25、80	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待などの要保護児童の早期発見や早期対応をはじめ、すべての子どもと家庭への支援を目的とした関係機関・民間団体等によるネットワークを構築しています。 ・構成メンバーによるネットワーク連絡会を設置し、研修会や交流会を開催しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H23年度まで開催していた「せとうち子どもフェスティバル」を保健福祉部の他のイベントと合同して「保健福祉フェスタ」として実施しました。既存の市子育て支援ネットワーク構成メンバーと連携しながら実施することができました。参加者約3,500人。 ・2/14に子育て支援ネットワーク研修会を開催しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員、愛育委員、栄養委員等、子育て支援ネットワークメンバーと連携しながら、子育ての楽しさ、喜びを市民に伝えることができました。 	子育て支援課 【再掲】
108	要保護児童対策地域協議会による支援の推進 【再掲】 No. 31、103	<ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉法に基づく要保護児童対策地域協議会を設置し、代表者会議を年1回、実務者会議を月1回、個別ケース検討会議を適宜開催しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者会議を5/21に開催。実務者会議毎月開催。個別ケース検討会議17回開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議を設けることで、要保護児童に関する情報や課題を共有し、支援体制を整えることができました。 ・困難ケース等、タイムリーに個別会議を持つことで、関係者がケース情報や課題を共有し、役割を確認することで、支援体制の充実を図ることができました。 	子育て支援課 【再掲】
109	小学生や保護者を対象とした児童虐待・いじめ等の暴力防止教育の実施 【再掲】 No. 98	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校4年生とその保護者及び教職員を対象に、子どもへの暴力防止/人権教育プログラム(CAP)を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内10校のうち2校の協力が得られ、子どもへの暴力防止/人権教育プログラム(CAP)を実施することができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ぐるみでCAPを実施した学校が1校ありました。 ・学校のカリキュラムの変更により、研修時間の確保が難しく、取組めない学校が増えている現状があります。 	子育て支援課 【再掲】

(2)ひとり親家庭への支援

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
110	母子自立支援員による相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・母子及び寡婦福祉法に基づく母子自立支援員を市福祉事務所に設置し、ひとり親家庭の子育てや就労等に関する相談や情報提供を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【母子自立支援員】 ・就労支援相談52件（母子自立支援プログラム4件）、母子寡婦福祉資金貸付相談26件、母子家庭教育訓練給付金等相談5件など、399件の相談や情報提供を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭の各種相談に応じ、適正に対応できています。 	子育て支援課
111	ひとり親家庭等生活支援事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭等への生活援助や子育て支援を行うことを目的に、家庭生活支援員の派遣を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【ひとり親家庭等生活支援事業】 ・登録件数2件、派遣件数0件。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制度周知はできていますが、利用がありませんでした。柔軟な対応ができるよう委託業者を増やすことに関し検討が必要です。 	子育て支援課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
112	ドメスティックバイオレンス(DV)防止に関する啓発と被害者への支援	<ul style="list-style-type: none"> 市広報等でDV防止に関する啓発を実施しています。 被害者等から相談があった場合には、女性相談所や警察署等への紹介や連絡を行っています。 家庭訪問、乳幼児健診、育児相談等を早期発見の機会と捉え対応するとともに、状況に応じてこころの健康相談を紹介しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【DV対策】 <ul style="list-style-type: none"> DV対策に関する相談窓口を設置し、市の関係部署及び関係機関との連携体制を整えています。相談件数4件。 【相談支援】 <ul style="list-style-type: none"> 保護者のDVにより子どもの心理面に与える影響が心配されるケースがありました。関係機関と連携し、支援しました 乳幼児健診や、妊婦相談時にDVについての観点からも相談に応じました。 	<ul style="list-style-type: none"> 市の関係部署及び関係機関と連携し、事案に応じた適正な対応ができました。 関係機関とタイムリーに情報を共有し、支援体制を整えることができました。 DVは受けている本人には、被害者だという意識が無い場合もあることから、相談を受けた場合DVの可能性はないかという視点からも注意深く対応する必要があると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民課 子育て支援課 健康づくり推進課
113	経済的支援による自立支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭等医療費の助成制度を実施しています。 市民税非課税世帯のひとり親家庭を対象に、保育所保育料の減免を実施しています。 児童扶養手当法に基づく児童扶養手当を支給しています。 母子及び寡婦福祉法に基づく瀬戸内市母子家庭自立支援教育訓練給付金・高等技能訓練促進費の活用を促進しています。 県の母子寡婦福祉資金貸付制度の窓口業務を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 医療費として8,193千円を支給しました 【保育料減免】 <ul style="list-style-type: none"> 市民税非課税世帯のひとり親家庭を対象に、保育所保育料の減免を実施。 【児童扶養手当】 <ul style="list-style-type: none"> 3/31時点で、268名が受給。全部支給停止は49名。 【自立支援教育訓練給付金等】 <ul style="list-style-type: none"> 教育訓練給付金2件、高等技能訓練促進費2件。 【母子寡婦福祉資金貸付制度】 <ul style="list-style-type: none"> 新規貸付4件、継続貸付6件、償還新規3件、償還継続10件。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画どおり実施しました。 【保育料減免】 <ul style="list-style-type: none"> 市からも制度周知し、該当世帯は保育料の減免を受けました。 【児童扶養手当】 <ul style="list-style-type: none"> 父子家庭への拡充もあり、受給者が増えました。制度周知方法に課題が残りました。 【自立支援教育訓練給付金等】 <ul style="list-style-type: none"> 相談は数件ありましたが、利用者が少なかったです。 【母子寡婦福祉資金貸付制度】 <ul style="list-style-type: none"> 新規貸付が多く、制度説明の徹底など充分評価できます。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民課 子育て支援課
114	交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度開催地となった岡山県母子寡婦福祉研修会（県大会）を機会に、「お母さんの集い」を開催しています。（その結果、瀬戸内市母子寡婦福祉連合会の母子部会ができています。） 	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭ふれあい交流を11月3日に実施。12組の家庭が参加。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童扶養手当現況届のとき母子家庭・父子家庭に周知をしましたが、参加者が少なかったです。企画内容、日程等を検討する必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
115	女性を対象とした相談体制のあり方に関する検討	・平成18年度に、人権啓発室・福祉課・子育て支援課・健康づくり推進課で、連携体制について検討しています。	・全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間（11月12日～11月18日）に合わせて、市広報誌を活用した啓発活動を実施しました。	・市の関係部署及び関係機関と連携し、事案に応じた適正な対応ができました。	市民課

(3) 障害児施策の推進

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
116	障害の早期発見・早期対応	・乳幼児健診で多職種のスタッフによる発育や発達等のチェックを実施するとともに、健診終了後のカンファレンスで要フォロー児の検討を実施しています。 ・要精密検査必要児の保護者に対して、十分な状況の理解や納得を得た上で、専門機関への受診勧奨を行っています。	【乳幼児健診での発育・発達チェック及び支援検討会議の実施】 ・乳幼児健診で多職種のスタッフによる発育や発達等のチェックを実施するとともに、健診終了後のカンファレンスで要フォロー児の検討を実施しています。 【要精密検査必要児への支援】 ・要精密検査必要児の保護者に対して、十分な状況の理解や納得を得た上で、専門機関への受診勧奨を行っています。	・心理の職員を配置し、必要な方が相談できる体制はできていると思いますが、随時相談がある場合の対応ができるよう、常勤の心理職員の配置が必要と考えます。	健康づくり推進課
117	発育や発達に関する相談体制の充実	・専門医による幼児の発育や発達についての相談を年3回実施しています。	【発達相談の実施】 ・専門医による幼児の発育や発達についての相談を年4回実施しています。相談件数13件。	・年3回の実施については有効に利用ができていると思われます。	健康づくり推進課
118	障害児保育の充実	・すべての認可保育所で受け入れ体制は整備されていますが、利用ニーズ等により平成21年度は5か所の保育所で実施しています。	・平成24年度実施保育所数 私立保育園3か所 公立保育園5か所	・各保育園で利用ニーズに応じた障害児保育が行うことができました。ただし、障害児など加配の必要な児童が増えており、受け入れのためには保育士の確保が課題です。	子育て支援課
119	教育相談・指導体制の充実	・小学校1校の情緒障害に係る通級指導教室で、対人関係能力等に関する指導を行っています。 ・養護学校と連携を図りながら、各学校で教育相談を実施しています。 ・市医師会、児童相談所、養護学校、市担当課、保・幼・小・中の代表者が参加する就学指導委員会を年2回開催しています。	・小学校1校の情緒障害に係る通級指導教室で、対人関係能力等に関する指導を行いました。 ・支援学校と連携を図りながら、各学校園で教育相談、ケース会議を実施しました。 ・市医師会、児童相談所、養護学校、市担当課、保・幼・小・中の代表者が参加する就学指導委員会を年2回開催しました。	・就学指導委員会の開催により、市内における対象児童生徒の状況把握とともに、専門的な見地に立った審議・判定により適切な就学指導を実施することができました。	総務学務課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
120	学校生活の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内市及び備前地区の特別支援ネットワークを活用し、関係者によるケース会議等を開催しています。 ・特別支援学級の設置について、県教育委員会に要望しています。 ・通常学級に在籍する発達障害の児童生徒を支援するため、県からの加配教員や市で支援員を配置しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育連絡協議会を活用し、関係者による対象児童のケース会議を開催しました。 ・特別支援学級の設置について県教育委員会と連携した取り組みができました。 ・通常学級に在籍する発達障害の児童生徒を支援するため、県からの加配教員や市で支援員を配置しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児童について関係機関と連携し、ケース会議を開催しました。 ・自閉症・情緒障害に係る特別支援学級の新設することができました。 	総務学務課
121	障害に関する正しい知識の普及	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報や市HPで、障害手帳や各福祉制度の周知を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報や市ホームページで、障害手帳や各福祉制度の周知を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に多様な情報を提供でき、障害に関する正しい知識の普及が図れました。 	福祉課
122	自立支援及び地域生活支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者自立支援法に基づく瀬戸内市第2期障害福祉計画を策定し、障害のある人の自立や地域生活の支援を進めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会で「自立支援の広場」HPを開設し、情報提供を開始しました。 ・第2次瀬戸内市障がい者計画を作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害がある人の日常生活の向上や相談業務、社会参加の促進につながっています。 	福祉課
		<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある子どもを受け入れている放課後児童クラブを対象とした障害児受入サポート事業（委託料の加算）を実施するとともに、指導員の資質向上のため研修会を開催しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある子どもを受け入れている放課後児童クラブを対象とした障害児受入サポート事業（委託料の加算）を実施。 ・発達障害に関する研修会を開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児に関する研修会などへの積極的な参加があり、放課後児童クラブ指導員の資質向上が図れています。 	子育て支援課
123	特別児童扶養手当、特別障害者手当の支給	<ul style="list-style-type: none"> ・特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づく特別児童扶養手当、特別障害者手当を支給しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別児童扶養手当44人、特別障害者手当28人、障害児福祉手当27人、経過的福祉手当2人手当を交付し、福祉の増進が図れました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、本制度の周知を図るとともに、今後も国の制度に基づき実施します。 	福祉課

(4)すべての子どもと家庭への総合的な支援

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
124	子どもと家庭の総合的な相談・支援の体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年4月から児童相談援助業務が市町村で開始されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度は新規の児童相談が74件ありました。そのうち34件が児童虐待相談でした。また、その他の養護相談ケースについても、所属への見守り等の支援を依頼しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待相談の件数は年々増加しており、関係機関や地域住民への意識の高まりも要因として考えられます。しかし、その一方で保護者の離婚や再婚、精神的な問題、経済的な問題等、複数の課題を抱える家庭が増加しています。 ・児童虐待を家族だけの問題ではなく、地域全体の問題として捉えていく必要があります。 	子育て支援課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成24年度実施状況	評価	担当課
125	子どもと若者の総合的な支援の体制づくり	<p>・児童虐待、いじめ、少年による重大事件の発生、有害情報の氾濫、ニートやひきこもり、不登校、発達障害、精神疾患など、子ども・若者をめぐる環境の悪化や問題の深刻化が指摘されています。国は平成21年7月に「子ども・若者育成支援推進法」を制定し、総合的な支援体制の構築を進めています。</p>	<p>・県などから関係する情報を収集しました。</p> <p>・情報収集に努めました。</p>	<p>・地域に関する専門機関が無いなど市単独での体制づくりができません。</p> <p>・市の総合的な体制づくりのため、さらに情報収集に努める必要があります。</p>	<p>社会教育課</p> <p>子育て支援課</p>